

第15回横幹連合コンファレンス開催報告

猪原 健弘*

Report on the 15th Conference on Transdisciplinary Science and Technology

Takehiro INOHARA*

1. 2024年10月に誕生した東京科学大学で開催

第15回横幹連合コンファレンスが2024年12月14日(土)・15日(日)の両日、東京科学大学 (Science Tokyo) 大岡山キャンパスにて、参加登録者210名をお迎えして、開催されました (Fig. 1)。Science Tokyoは、東京医科歯科大学と東京工業大学が統合して2024年10月に誕生しました。医学・歯学と理工学の統合により新たに生まれた大学でコンファレンスを開催することをお認めくださった東京科学大学のご関係の方々から感謝を申し上げます。

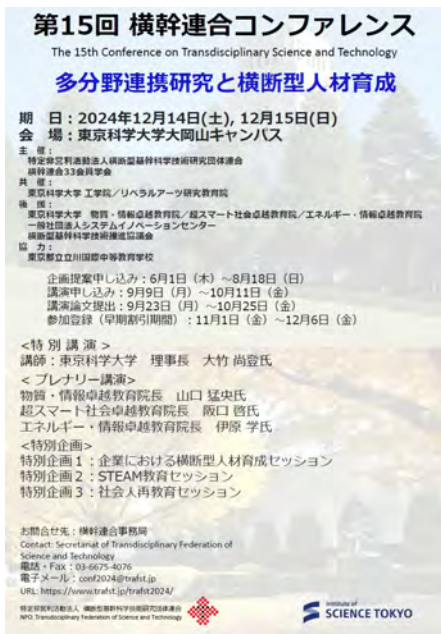


Fig. 1: 第15回横幹連合コンファレンスのポスター

2. テーマは多分野連携研究と横断型人材育成

今回のコンファレンスでは、テーマを「多分野連携研究と横断型人材育成」とし、多分野連携研究のあるべき姿、とるべき方向性、達成すべき成果、そして、多分野連携研究を持続可能にするための横断型人材育成の理念と方法を検討する機会といたしました。

まず1日目(14日(土))の椿広計横幹連合会長による会長挨拶 (Fig. 2) に続き、大竹尚登東京科学大学理事長による特別講演「Science Tokyoにおける研究」が行われ、Science Tokyoの概要と、新たに立ち上げられた研究組織である総合研究院、未来社会創成研究院、新産業創成研究院の構成と特徴が詳しく紹介されました (Fig. 3)。



Fig. 2: 椿広計横幹連合会長による会長挨拶

*第15回横幹連合コンファレンス 実行委員長・東京科学大学リベラルアーツ研究教育院 東京都目黒区大岡山2-12-1 (W9-38)

*Institute of Science Tokyo, W9-38, 2-12-1, Ookayama, Meguro, Tokyo

Received: 28 January 2025



Fig. 3: 大竹 尚登 東京科学大学理事長による特別講演



Fig. 5: 阪口 啓 超スマート社会卓越教育院長



Fig. 4: 山口 猛央 物質・情報卓越教育院長



Fig. 6: 伊原 学 エネルギー・情報卓越教育院長 (オンラインでの講演)

3. プレナリーセッション：3つの卓越教育院

テーマ「多分野連携研究と横断型人材育成」に関する Science Tokyo の取り組みが、2日目（15日（日））のプレナリーセッションでも詳しく紹介されました。

山口 猛央 物質・情報卓越教育院長（Fig. 4）、阪口 啓 超スマート社会卓越教育院長（Fig. 5）、伊原 学 エネルギー・情報卓越教育院長（オンラインでの講演）（Fig. 6）により、研究や人材育成の推進のための仕組みや成果、成功事例、課題、今後の方針などが紹介され、また、フロアとの質疑応答が活発に行われました（Fig. 7）。

4. 3つの特別企画

コンファレンスでは「多分野連携研究と横断型人材育成」のテーマのもと3つの特別企画が行われました。

2日目（15日（日））午後の特別企画1：企業における横断型人材育成セッションは、高橋 範光（株）ディジタ

ルグロースアカデミア代表取締役会長による講演でした（Fig. 8）。技術進化の激しい現代において、デジタル変革が求められる企業や組織に求められる人材育成のあり方や課題についてこれまでの取り組みや官民連携の内容、また今後の方針やアカデミアへの期待などについて紹介いただきました。

特別企画2：STEAM教育セッションは、2日目（15日（日））の午前におこなわれ、初等・中等教育における横断型人材育成の先進的な取り組みとして、東京都立の小中高12年間一貫教育校である東京都立立川国際中等教育学校のSTEAM教育の実践が紹介されました。セッションには、講演者・発表者として小澤 信敬 東京都立立川国際中等教育学校副校長（Fig. 9）と同校の生徒4名（渥美知世さん、齋藤文伶さん（Fig. 10）、宮原知大さん、王子揚さん（Fig. 11））が、また聴衆としてコンファレンスへの参加者と、上記の生徒の保護者4名が参加くださいました。

最初に小澤 信敬 副校長が実践全体を説明くださり、



Fig. 7: プレナリーセッションでの質疑応答



Fig. 8: 高橋 範光 (株) デジタルグロースアカデミア 代表取締役会長



Fig. 9: 小澤 信敬 東京都立立川国際中等教育学校副校長

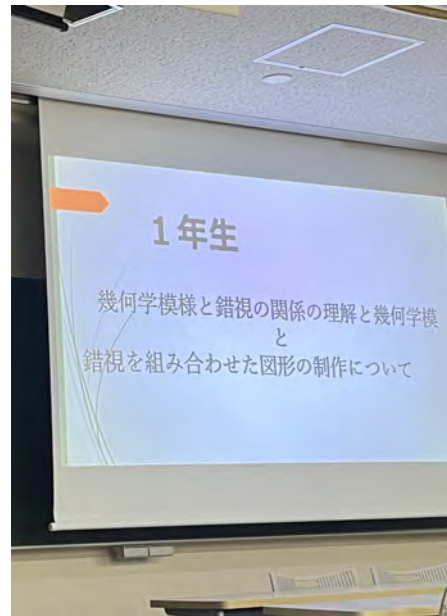


Fig. 10: 渥美知世さんと齋藤文倫さんの紹介スライド (東京都立立川国際中等教育学校)

次に生徒4名が実践の成果の概要を発表してくださいました。その後、聴衆にも参加いただく形で生徒よるポスター発表が行われ、活発な意見交換がなされました (Fig. 12)。

この特別企画、および、この特別企画の後に行われた企画セッション「OS17 科学的問題解決法と横断型人材育成—全教科・全教師・産官学連携による問題解決教育—」でのパネルディスカッションにより、横幹連合と中等教育学校の連携が、STEAM教育のステークホルダーである生徒や保護者を含める形で実現したことは、大変画期的で有意義でした。

当特別企画の内容の詳細につきましては、「第15回横幹連合コンファレンス 特別企画「STEAM教育セッション」開催報告」の記事をあわせてご覧ください。

特別企画3: 社会人再教育セッションは、1日目(14日(土))の午後に行われました。この特別企画では、MIT スローン・スクールの教育理念と卒業生の経験を基に、

急速に変化するグローバル社会における人材育成の未来を探求しました。他分野連携、グローバル視点、継続的学習の重要性を強調し、理論と実務を融合させた実践的アプローチを提案することで、社会人再教育に新たな視座を提供し、変革の時代を生き抜くリーダーシップ育成の指針を示していただきました。

板倉 宏昭 東京都立産業技術大学院大学 教授 (Fig. 13) によるオーガナイズのもと、赤木 徳顕 開志専門職大学 教授 (Fig. 14) による「研究機関からベンチャーへ: 多様なキャリアパスと学び続けることによる可能性」、秋池 玲子 ボストン・コンサルティング・グループ 日本代表 (Fig. 15) による「社会の変化とそれに対応する人材育成の方向性」、亀田 浩樹 三菱総研 DCS(株) 代表取締役社長 (Fig. 16) による「IT ユーザー企業とサービス企業、両方の経営者としての視点から、デジタルトランスフォーメーションの重要性と人材育成」、向平 隆博



Fig. 11: 宮原知大さん（左）、王子揚さん（右）（東京都立立川国際中等教育学校）



Fig. 12: 東京都立立川国際中等教育学校の生徒によるポスター発表

TNAX BioPharma(株) 代表取締役社長 (Fig. 17) による「グローバル製薬産業におけるイノベーションと多分野連携」、そして、板倉 宏昭 教授による「変革の時代を生き抜く力: MIT スローン・スクールの学びから紐解く人材育成の未来」についての講演と、活発な質疑応答が行われました。

当特別企画の内容の詳細につきましては、「社会人再教育セッション開催報告-MIT スローン校同窓生が考える「変革時代の人材育成」-」の記事をあわせてご覧ください。

5. 企画セッション・一般セッション・ポスターセッション・懇親会

コンファレンスでは、会長挨拶、特別講演、プレナリーセッション、3つの特別企画に加え、それぞれが複数の講演からなる専門的・横断的・多様なテーマの18の企画セッションと一般セッションが2日間にわたり実施されました。企画セッションと一般セッションでは合計95件の発表が行われました。これらは横幹連合の顕彰活動の1つである木村賞授賞の対象です。一次と二次の事前の書類審査を経て、コンファレンス当日に三次審査が行われ、後日、受賞者の決定と発表が行われます。



Fig. 13: 板倉 宏昭 東京都立産業技術大学院大学 教授



Fig. 14: 赤木 徳顕 開志専門職大学 教授

また、1日目(14日(土))のポスターセッション (Fig. 18) には30件がエントリーし、同日、参加者の投票によりベストポスター賞が選出され、懇親会の中で発表されました。今回は、孫ボラムさん(東京科学大学)による「AI協働学習を通じた数学教育がグローバル・シティズンシップに与える影響」がベストポスター賞に輝きました (Fig. 19)。おめでとうございます。

6. 懇親会

懇親会は1日目(14日(土))の夕刻から Science Tokyo 大岡山キャンパス西5号館2階のつばめテラスにて開催されました。椿 広計 横幹連合会長の挨拶に引き続き、安岡 善文 前横幹連合会長に乾杯の発声をいただきました (Fig. 20)。

懇親会には約80名が参加し、終始和やかに進行しま



Fig. 15: 秋池 玲子 ポストン・コンサルティング・グループ 日本代表



Fig. 18: ポスターセッションの様子. 30 件の発表があった.



Fig. 16: 亀田 浩樹 三菱総研 DCS(株) 代表取締役社長



Fig. 19: ベストポスター賞受賞の孫ボラムさん（東京科学大学）（中央、右は椿 広計 横幹連合会長、左は孫ボラムさんの指導教員の永原健太郎先生）

した (Fig. 21). 会の後半には、次回 (第 16 回) 横幹連合コンファレンスについて、実行委員長の鈴木亮一 金沢工業大学 情報理工学部ロボティクス学科 教授より、日程が 2025 年 12 月 13 日 (土)・14 日 (日) であり、テーマが「ともにつくる」学際融合による復興と共創 (仮) であること、そして、主会場となる金沢工業大学扇が丘キャンパスや周辺地域、懇親会などの紹介がありました (Fig. 22).

7. おわりに

第 15 回横幹連合コンファレンスの実行委員長は東京科学大学リベラルアーツ研究教育院の猪原 健弘が担当しました。このような貴重な機会をいただけ、また、学内外の方々と新しいつながりを得ることができ、とても嬉しく感じております。一方、至らぬ点が多々あったと存じます。次回以降のコンファレンスに引き継いでまいりたいと考えておりますので、どうぞお気づきの点を当方にお知らせくださいますようお願い申し上げます。

参加登録者 210 名の内訳は、横幹連合の会員学会の会員が 106 名、横幹技術協議会およびシステムイノベー



Fig. 17: 向平 隆博 TNAX BioPharma(株) 代表取締役社長



Fig. 20: 安岡 善文 前横幹連合会長



Fig. 21: 懇親会の様子



Fig. 23: 準備・運営スタッフ (12月13日(金)大岡山キャンパス西9号館E棟2階デジタル多目的ホールにて)



Fig. 22: 鈴木 亮一 金沢工業大学 情報理工学部ロボティクス学科 教授, 実行委員長による第16回横幹連合コンファレンスについての紹介

ションセンターの会員企業関係者が2名、会員外が36名、学生が55名、講演者等、招待させていただいたみなさまが11名でした。この参加登録者に加えて、東京都立立川国際中等教育学校の生徒4名とその保護者4名が参加くださいました。

参加形態につきましては、会場で参加された方々が174名、オンラインでの参加が36名でした。

学生や生徒の参加や、会場で参加された方々、懇親会への参加者が多く、大変嬉しく感じております。ありがとうございました。

最後に、プログラム委員長をお引き受けくださった東京科学大学工学院システム制御系の畑中 健志 教授、準備と当日運営に尽力くださった6名の実行委員と4名のプログラム委員、プログラム委員会に加わってくださった16名の企画セッションの企画者、2名の事務局および2名の運営業者の方々、16名のアルバイトの学生 (**Fig. 23**)、そして、私たちの準備・運営を支えてくださった安岡 善文 前横幹連合会長と椿 広計 現横幹連合会長、藤田 政之 学術・国際委員会委員長、および、理事会と学術・国際委員会にお礼を申し上げます。ありがとうございました。